

## ＝実行委員会報告＝

4月21日(日)18:00より、大久保地域センター会議室に於いて第2回実行委員会が開催されました。また実行委員会に先立ち音楽センター会議室(新大久保)に於いて、共催の「関東講師懇談会」との懇談会が開かれました。【懇談会参加者:関東講師懇談会より川口裕志/木下そんき/中山英雄/松永勇次(敬称略)、実行委員会より築山泉/池田健/乙津良雄】

### ■《懇談会の内容》

・**どうしたら参加者が増えるか**⇒現在、励ましのことばを書き込んだ「メッセージカード」を演奏者に届けることで参加する形を取っているが他に参加の仕方はないだろうか。審査員の審査とは別に、会場で聴いている方にも参加してもらう(聴衆者審査員募集などの意見が出ました)。

・**ジュニア、初心者部の結果発表を午前中に終わらせることは可能か**⇒現在、ジュニアの部についてのみ午前中に結果発表並びに講評を実施している。ジュニアの部、初心者部の参加者が増える傾向にあると難しいが、前回並み【ジュニア(0)/初心者A(6人)/初心者B(5人)】であれば、可能ではないか。そうすることで全体に時間短縮が出来ないかとの意見が出ました。

・**審査員の世代交代を考える**⇒30代、40代、50代の方が力を付けてきているので、徐々にバトンタッチが必要になる。色々な音楽家から講評を聞きたい。などの意見が出ました。

・**演奏者一人当たりの審査時間を短縮する方法はないか**⇒関東アコーディオン演奏交流会は、現在の形、(良い点、改善点などを楽譜、講評カードに記入。また、講評の形で、演奏者に言葉で演奏の評価を伝える)で、お互いに演奏を聴き合い、講評も聞き合うことで聴衆も含めた交流が出来ることを、特徴としている。また、そのことで参加者の演奏水準を上げてきた成果もあるので難しい問題ですが、お互いに審査の方法を勉強することも必要ではないかななどの意見交換がありました。

### ■《第2回実行委員会議事録より》

【出席者:塚本、佐々木(す)、築山、仙仁、乙津、田中、大淵、坂井、池田、田代、木下そんき(講師)】

・**実行委員会体制の確認**⇒実行委員長(塚本五郎)/事務局長(築山泉)・事務局員(橋本千香子)/企画部長(池田健)・企画部員(前原克彦)/組織部長(北村きよ江)・組織部員(東谷彰、宇野綾子)/広報部長(乙津良雄)・広報部員(仙仁宏、田代和也)、(小神長次:ホームページ担当)/財政部長(佐々木すみえ)※実行委員募集は、常時呼びかけていくことになりました。

・**募集要項の確認**⇒募集要項の原稿読み合せ。申し込み締切日、楽譜提出締切日など確認。

現在、一般中級の部の出場条件として「マニアンテメソッド1巻終了程度」とあるが、解りにくいとの意見があり、講師懇談会に持ち帰り検討していただくことになりました。

作:細谷道子⇒



・**ホームページの改善**⇒トップ画面にカレンダー機能を追加して、コンサート情報などをわかりやすく表示し、また充実させていくことで具体的な検討を進めることになりました。